

ヘルスケアアプリ「HELPO」導入 ～身体不安や心の不調に悩まない職場環境づくりへ～

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）および株式会社ヤマダデンキ（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：佐野 財丈）は、社員が持てる能力を最大限発揮できるよう、すべての社員が安心して働ける労働安全衛生環境の維持向上と心身の健康の増進が企業存続の基盤をなすという考えのもとに健康経営を推進しています。その取り組みの一環として、ソフトバンク株式会社のグループ会社であるヘルスケアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：鴻池 大介、）が提供するヘルスケアアプリ「HELPO」（ヘルポ）を導入いたしました。社員が各自の携帯端末にアプリをインストールし、利用を開始しています。

■ HELPO とは

「HELPO」は日常生活における心身の不安や心の不調に対応し、24時間365日体制で医療者のサポートを受けられるヘルスケアアプリです。アプリの利用者に対してセルフケア（自己管理）を促し、適切なアドバイスを行うことで健康維持・増進を図り、医療費の適正化につなげています。



■ 健康経営推進責任者 代表取締役 兼 副社長執行役員CHRO：小暮 めぐ美 コメント

ヤマダホールディングスは、持続的成長に向け「人的資本は最も重要な経営資源」と捉えています。全国各地で活躍する社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できる環境を整えることこそが、私たちの価値創造の源泉です。この度の「HELPO」導入は、将来の成長に向けた人材投資の一環であり、専門家への相談体制構築やセルフケア支援を通じて生産性低下（プレゼンティーイズム）の改善を図り、中長期的な企業価値向上につなげます。これまで健康に関心が薄かった社員も、アプリを通じた日々の記録をきっかけに、自律的な健康管理ツールとして自身の体調を主体的に整える習慣を育むことを目指しています。全員がベストな状態で業務に臨める環境を整え、あわせて相互交流も促しながら、活気ある職場を構築し、持続可能な未来を切り拓いてまいります。

以上

【本件に関する報道関係者お問い合わせ】

株式会社ヤマダホールディングス 統合経営企画室 経営企画部 広報課
TEL：027-345-8947 E-mail：ymd_kouhou@yamada-denki.jp